

こくご

小3 光

も く じ

22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1							
へんとつくり ローマ字	山小屋で三日間ですすなら ポスターを読もう	わたしと小鳥とすずと 夕日がせなかをおしてくる	鳥になったきょうりゅうの話(2)	夏にくらし／はじめて知ったことを知らせよう 鳥になったきょうりゅうの話(3)	引用するとき／仕事のくふう、見つけたよ 符号など	言葉のふく習②	俳句を楽しもう 「こそあひ言葉を使いこなそう」	まいごのかぎ(3)	まいごのかぎ(2)	まいごのかぎ(1)	漢字の広場③ 気もちをこめて「来ててください」	こまを楽しむ(2)	言葉で遊ぼう／こまを楽しむ(3) 全体と中心	言葉のふく習①	もっと知りたい、友だちのこと さちんとつたえるために／漢字の広場②	漢字の音と訓 漢字の広場①／春のくらし	図書館たんていだん 国語辞典を使おう	さつじきの商売(3)	さつじきの商売(2)	さつじきの商売(1)	どきん 分ける・くらべる／よく聞いて、よく聞いて、よく聞いて	2年のふく習②	2年のふく習①	学習内容	本書のページ	教科書ページ		
48 ↳ 49	46 ↳ 47	44 ↳ 45	42 ↳ 43	40 ↳ 41	38 ↳ 39	36 ↳ 37	34 ↳ 35	32 ↳ 33	30 ↳ 31	28 ↳ 29	26 ↳ 27	24 ↳ 25	22 ↳ 23	20 ↳ 21	18 ↳ 19	16 ↳ 17	14 ↳ 15	12 ↳ 13	10 ↳ 11	8 ↳ 9	6 ↳ 7	4 ↳ 5	2 ↳ 3	本書のページ	教科書ページ			
⊕ 122 ↳ 128	⊕ 116 ↳ 121	⊕ 112 ↳ 115	⊕ 106 ↳ 110	⊕ 98 ↳ 111	⊕ 90 ↳ 97		⊕ 85 ↳ 89	⊕ 76 ↳ 80	⊕ 67 ↳ 71	⊕ 65 ↳ 84	⊕ 60 ↳ 64	⊕ 52 ↳ 55	⊕ 47 ↳ 59		⊕ 40 ↳ 46	⊕ 35 ↳ 39	⊕ 30 ↳ 34	⊕ 19 ↳ 22	⊕ 16 ↳ 19	⊕ 15 ↳ 29	⊕ 9 ↳ 14			教科書ページ				
			44	43	42	41	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23				
	3年のまとめ	言葉のふく習⑤	モチモチの木(3)	モチモチの木(2)	モチモチの木(1)	つたわる言葉を表そう／これがわたしのお気に入り コンピュータのローマ字入力／わたしたちの学校じまん	ありの行列(2)	ありの行列(1)	カンジューはかせの音訓かるた 漢字の広場⑥	たから島のぼうけん／冬のくらし 詩のくふうを楽しもう	三年とうげ(3)	三年とうげ(2)	三年とうげ(1)	言葉のふく習④	短歌を楽しもう 漢字の広場⑤	ことわざ・故事成語 漢字の意味	すがたをかえる大豆(2)	すがたをかえる大豆(1)／科学読み物での調べ方 食べ物のひみつを教えます	修飾語を使って書こう／秋のくらし はんで意見をまとめよう／漢字の広場④	ちいちゃんのかげおくり(3)	ちいちゃんのかげおくり(2)	ちいちゃんのかげおくり(1)	言葉のふく習③			学習内容	本書のページ	教科書ページ
	94 ↳ 96	92 ↳ 93	90 ↳ 91	88 ↳ 89	86 ↳ 87	84 ↳ 85	82 ↳ 83	80 ↳ 81	78 ↳ 79	76 ↳ 77	74 ↳ 75	72 ↳ 73	70 ↳ 71	68 ↳ 69	66 ↳ 67	64 ↳ 65	62 ↳ 63	60 ↳ 61	58 ↳ 59	56 ↳ 57	54 ↳ 55	52 ↳ 53	50 ↳ 51	本書のページ	教科書ページ			
			⊖ 127 ↳ 130	⊖ 124 ↳ 126	⊖ 121 ↳ 136	⊖ 105 ↳ 120	⊖ 96 ↳ 99	⊖ 96 ↳ 104	⊖ 92 ↳ 94	⊖ 81 ↳ 91	⊖ 70 ↳ 74	⊖ 66 ↳ 70	⊖ 66 ↳ 80		⊖ 62 ↳ 64	⊖ 56 ↳ 61	⊖ 43 ↳ 46	⊖ 41 ↳ 55	⊖ 29 ↳ 40	⊖ 23 ↳ 25	⊖ 16 ↳ 19	⊖ 9 ↳ 28			教科書ページ			

1

分ける・くらべる／よく聞いて、じこしようかい
どきん

漢字をおぼえよう……漢字

● 新しい漢字——漢字の練習をしましょう。

詩	例詩人	⑬言	習	例習字	⑪羽
詩詩詩詩詩詩			習習習習習		
詩			習		

練習しよう

1 次の線の漢字の読みがなを書きましょう。

① 詩 を読む

② 学 習 する

2 じこしようかいをするときや、じこしようかいをしている人の話を聞くとときには、どんなことに気をつけますか。次の文の「」にあてはまることばを、後からえらんで書きましよう。(同じことばは一回しかつかえません。)

① みんなに聞こえるように、

話す。

②

ことばで話す。

③ じこしようかいをしている人の話を

聞

きちんと みじかい はっきりと

3 次の表は、やさいとくだものを、あるとくちようによって分けてせいりしたものです。「」①～⑥にあてはまるものをそれぞれ後からえらび、記号で答えましよう。

				やさい	くだもの
①	ア	②	⑤	キャベツ・	③
	ト	マト			
④	⑥	③			

ア 黄 イイチゴ ウ ダイコン エ ほうれん草
オ 赤 カ にんじん キ ナス ク メロン
ケ 緑 コ 白

①

②

③

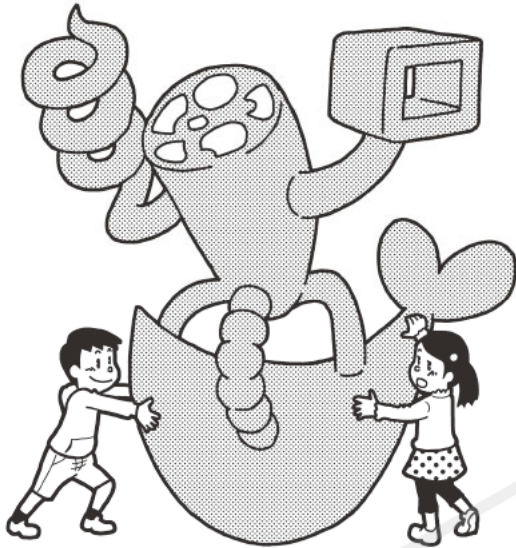
④

⑤

⑥

4 次の詩を読んで、後の問いに答えましょう。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。



10

5

□ (1) 線アからウの中で、もっとも強く読むところはどこですか。記号で答えましょう。

□ (2) 詩の中から、次の音やようすをあらわすことばを一つずつ書きぬきましょう。

① ものがくずれてくる音。

② 何かがだんだんせまってくるようす。

□ (3) 線①「えへへ」は、どんなようすをあらわしていますか。次から一つえらび、記号で答えましょう。

ア かってにたおれてしまったので、あきれている。

イ とつぜんたおれてきたので、びっくりしている。

ウ 自分がたおしてしまったので、ごまかしてわらっている。

□ (4) 線②「どきん」は、どんな気もちをあらわしていますか。なぜ、そんな気もちになったのか、そのわけも分かるように書きましょう。